

## 夢の実現へ向け、新たな挑戦がスタート！

## ～障がい者スポーツクラブ設立～

スポーツのものがたりづくり  
We are the BASE for you

### 北海道に、障がい者スポーツの拠点をつくる。

クラブが行う3つの活動

- 1 障がい者チーム活動
- 2 スポーツスクール活動
- 3 地域交流活動

©2019 HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS  
連絡先: hokkaido.adaptive.sports@gmail.com



障がい者スポーツを学びにアメリカに留学したスポーツコース第1期生の齊藤雄大さんが、H31年3月に障がい者スポーツクラブ「HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS」（ホッカイドウ・アダプティブ・スポーツ）を設立し、3月8日に記者発表を行いました。

このクラブでは、まだ競技人口の少ない障がい者スポーツ界において、1つのクラブで複数種目のチーム、スポーツスクールやジュニアの育成に取り組むこと、健常者の方も一緒に競技に参加できることが特徴となっています。

今後は準備ができ次第、クラブへの参加者募集やスクール活動を開始する予定です。

「北海道に障がい者スポーツの拠点をつくる」との夢の実現のため、みらチャレに応募した齊藤さんの新たな挑戦がはじまります。

## 多くの方々のご縁に感謝

## ～北海道発掘マガジンJP01でのインタビュー～

HOKKAIDO MAGAZINE JP01  
北海道発掘マガジン JP01  
TAKE FREE ¥0  
2019 Spring vol.21

地元の食を愛する姿勢を海外留学で知る

高橋宗一郎さん

「海外留学で地元の食を愛する姿勢を知った。海外で学んだことを地元で活かす。地元産の食材を使った料理を学ぶ。地元産の食材を使った料理を学ぶ。」

ワインについて学びにイタリアに留学した学生留学コース第1期生の高橋宗一郎さんが、北海道を発掘するフリーマガジン「JP01」（ジェイピーゼロワン）のインタビューで、留学体験などを発表しました。

インタビューでは、みらチャレへの応募のきっかけや面接の様子などのほか、現地の方々のワインに対する想いなど、実際に留学したからこそ学び得たことを伝えるとともに、みらチャレを通して得た多くの方々のご縁への感謝を語っています。

※「JP01」（季刊誌）無償 編集・発行：総合商研(株)  
発行部数：50,000部  
配布場所：道内道の駅・SA・PA、主な観光案内所、レンタカー営業所など

## 地産地消の新メニューを発表

## ～ハートンツリーでの留学成果発表会～



スローフード発祥地イタリアに渡航して地産地消の調理法を学んだ、未来の匠コース第2期生の服部大地さんが、シェフを務めるレストラン「ハートンツリー」（鶴居村）で、留学成果の発表会を行いました。

発表会で服部さんは、6月1日からハートンツリーで新たに提供されるコース料理をお披露目するとともに、留学中の様子や学んだ調理技術などについてプレゼンテーションを行いました。

コースで提供される料理は全て、帰国後に新たに開発したもので、主に地元で採れた食材を使用した地産地消の料理となっています。